

「火って、元気になるね!!」編集する

2007年02月14日01:27 友人の友人まで公開

3 view



タイトルは、テントにもぐりこみ、お湯を沸かした瞬間に、  
3人で発した言葉。原始的な生活だからこそ味わえる、  
炎のあたたかさ&ありがたさ...

そうです、久しぶりに行ってきました、キャンプ泊まりの冬山。  
さぶかった～。

(2/11-12 八ヶ岳(赤岳 2899m)。山梨県と長野県の境目あたり。)

《写真1》前に行くのは、ロン&Kちゃん。

《写真2》赤岳山頂。完全防備です!! (顔出せない...)

《写真3》キャンプ場より見上げた、赤岳。

\*\_\*\_\*\_\*\_\*\_\*\_\*\_\*\_\*\_\*\_\*\_\*\_\*\_\*\_\*\_\*

#### 【コース概況】

初日は登山口からキャンプ場まで、雪道の緩やかな登りを4時間。

ここでキャンプを張り、翌朝荷物をキャンプ場に置いたまま、

軽装で赤岳に登頂し、再びキャンプ場に戻る(約4時間)。

(この間、森林限界を超え、岩場アリ突風アリ涙アリ笑いアリ...)

そして、キャンプ場から初日に登ってきた雪道を3時間で下る。

特筆すべきは、2日目早朝。キャンプ場から山頂までの登り。

前夜の満点の星空とは打って違って、あいにくの空模様...

それでも山頂を目指して歩き始めると、視界がだんだん白くなり、

稜線に出ると、けたたましい風が下から吹き付けてくる。

祈るしかなかった。

風よ、この雲を吹き飛ばしてくれー。

すると…。

(たりらりらりら～♪)

あれっ!? 晴れた!!

(それはもう、まるでドラマのよう!!)

そう、気がつけば、雲の上に出たようだ。

そしてそのまま、どんどん青空が出てくる、出てくる。

日頃の行いがいいとはこのことだ。

ニクイね、おれら。

v(^^)v

\*\_\*\*

一緒に行ったロンは、いつ見ても装備が充実しているし、テントも持ってくれた。  
Kちゃんは、山の料理に一段と磨きがかかっていた。  
ポトフ、クリームシチュー、うまかったよ～。

おれもまだまだレベルを上げていかないと。

(そんなおれは、案の定、早速太ももが筋肉痛に悩まされてます…。  
だめだこりゃ…。)

\*\_\*\*

★★ 情報求ム!! ★★

ファミレスや喫茶店等にある、スティックシュガー。  
あのような、要は数グラムで小分けされたもので、  
塩・こしょう・醤油などを求めているのですが、  
どこかで気軽にパクれないですかね!?  
(→どこかにありそうで、、、ないですよね!?)

というのは、実は、山に携帯するのにとっても便利。

最近は、JALに乗ったときに機内食についていた、  
塩、こしょう、醤油(それぞれ1回分)をパクっておいたので、  
今回の山で重宝できました。(=使い終わってしまった。)

探せばどこかでお手頃に売ってるのかな!?